

**【施策評価調査書】**

施策名	1-2-1 幹線道路の整備 ※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ 73	73	①主要幹線道路(国・県道)を補完する道路ネットワークを形成すること。 ②道路整備の必要性、効果についてわかり易い情報開示を行い、住民との対話と情報化を実現すること。 ③住民参加による道路整備・維持・管理技法を確立すること。 ④土地区画整理事業と連携して道路整備を進め、生活環境を向上すること。 ですが、そのうちこの施策については、①の円滑な移動に向けた道路網の形成と道路の修繕を迅速かつ効率的に行うことを目的とします。
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当 都市整備担当 リーダー 阿久津 径行	
環境変化			より円滑な道路網の形成に向けて、国・県道を補完する町幹線道路24路線のうち15路線を道路評価システムに基づき整備を行います。平成22年度までに新設改良道路は8路線中4路線を、舗装修繕路線は8路線中6路線の整備完了を目指します。また、芳賀高根沢工業団地関連渋滞対策をはじめとする3路線の新設改良と、交通量が多く道路の傷みが激しい路線の舗装修繕にも着手します。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 幹線道路整備進捗率(%)	平成16年度までの整備進捗率 (町幹線道路24路線中8路線が完成 8/24路線)	計画	37.5%	41.6%	50.0%	62.5%	75.0%
	33.3%	実績	→ 37.5%	↓ 37.5%	↓ 41.6%	→ 62.5%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	平成21年度までの整備進捗率 (町幹線道路24路線中15線が完成)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	135,617,000	143,750,000	91,000,000	366,271,000	
決算	142,989,679	77,740,060	72,190,000	225,873,192		

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)			
				今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
①町道436号線道路改良事業費【※繰越】	当初 95,755,000 決算 93,494,300	全線完了延長L=916m 916m / 916m	A	那須烏山市とを結ぶ広域的な幹線道路であるため住民の生活環境の改善はもろろん生活圏の広域化ができた。	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
②町道204号線舗装修繕事業費【※繰越】	当初 46,000,000 決算 47,029,500	工事延長L=985m 985m / 985m	A	損傷が著しい道路を修繕することにより、水溜りや騒音・振動が改善され、生活環境の向上を図れた。	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
③町道202号線舗装修繕事業費【※繰越】	当初 21,500,000 決算 19,729,500	455m / 455m	A	損傷が著しい道路を修繕することにより、水溜りや騒音・振動が改善され、生活環境の向上を図れた。	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
④都市計画道路五積寺南通り道路改良事業費【※繰越】	当初 2,726,000 決算 2,725,800	街路事業としての認定 0% / 100%	A	歩道を設置することにより、歩行者や自転車(特に通勤通学者)の安全が確保できる。	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
⑤町道348号線道路改良事業費【※繰越】	当初 15,410,000 決算 15,292,000	工事延長L=430m 430m / 430m	A	損傷が著しい道路を修繕することにより、水溜りや騒音・振動が改善され、生活環境の向上を図れた。	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
⑥町道380号線舗装修繕事業費	当初 30,000,000 決算 26,260,500	工事延長L=750m 342m / 750m	A	損傷が著しい道路を修繕することにより、水溜りや騒音・振動が改善され、生活環境の向上を図れた。	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
⑦町道403号線道路改良事業費	当初 6,680,000 決算 956,592	工事延長L=50m 0m / 50m	A	那須烏山市との境がカーブになっており見通しが悪いいため、那須烏山市と協力してカーブを改修し事故を防止する。【平成22年度へ繰越】	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
⑧町道494号線舗装修繕事業費【※補正】	当初 148,200,000 決算 20,385,000	工事延長L=1900m 0m / 1900m	A	一段高い歩道を路面の高さに切り下げて幅員を広げることにより、小中学生の通学の安全が確保できる。また、道路については、損傷が著しいため修繕し、走行車両等の安全を確保する。【平成22年度へ繰越】	継続	今後の方向性(総合評価)	継続

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	利便性の高い道路網の形成に向けた幹線道路の整備は、概ね順調に推進している。	事業の早期完了を目指すとともに後期計画に向けて町の財政状況も視野に入れて箇所の選定を検討していく必要がある。
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価するが、各路線の整備前の状況を踏まえつつ、路線の整備効果として、なぜ必要な路線なのか、示せるよう整備後の検証・評価を行っていくこと。また、道路評価の見直しにあたっては住民意識調査の結果を踏まえつつ、客観的な視点で評価でき、公表できるシステムとなるよう、検討委員と十分な見直しを行うこと。またそれに伴い、後期計画においては財政状況を勘案した施策展開を検討すること。	